

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	分庁舎		所在地	岡山市北区内山下2丁目2-6		
敷地面積	458.67 m ²		棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	1,520.31 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	警察法第47条に基づき設置された警察本部の一部組織が使用する庁舎					
【想定される自然災害】						
予想震度		6弱	津波	-	浸水	0.01m以上0.5m未満
建築規制	市街化区域、商業地域、防火地域 建ぺい率80%、容積率500%、後楽園背景保全地区高さ20m					
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料	(-)	
	237,372 kWh	271 m ³	1,046 m ³	-	0	
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし					

1 施設内建物の概況

名称	事務所棟				
築年(西暦)	1971年				
構造	鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階				
建築面積	298.02 m ²				
延床面積	1520.31 m ²				
主要な用途 (室名等)	執務室 11室 838m ²				
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機				
利用状況	高				
耐震性 ※1	有				
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—			
	中性化 ※3	—			
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適			
	地盤沈下 ※5	適			
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし				

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

予防保全を図りながら、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
事務所棟	・予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
事務所棟	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

--